

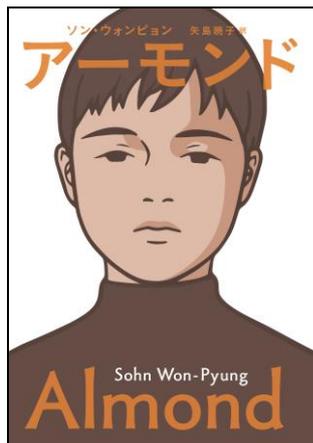


# 『アーモンド』

ソン・ウォンピョン 著/矢島暁子 訳

アジアで初の栄冠

2020年 **本屋大賞** 翻訳小説部門 **第1位!**



「涙を流さずにはいられない」  
全世代の心を打つ、感動と希望の成長物語。  
韓国で40万部、13カ国で翻訳。  
韓国で「書店員が選ぶ今年の本」(2017年)に選ばれた  
名作が、日本でも多くの書店員さんの熱いご支持を集め、  
本屋大賞翻訳小説部門の第1位に輝きました。  
翻訳とは思えないほど、わかりやすい名訳で  
大人から子どもまで、幅広い読者におすすめしたい、  
静かな衝撃の書です。

祥伝社刊/四六判/本体 1,600円+税

## [STORY]

“感情”がわからない少年が、愛によって生まれ変わるまで——

アーモンド  
扁桃体が人より小さく、怒りや恐怖といった感情をうまく感じるできない十六歳の高校生、ユンジェ。祖母は彼を「かわいい怪物」と呼んだ。そんな彼は、十五歳の誕生日に、目の前で祖母と母親が通り魔に襲われ死傷したときも、ただ黙ってその光景を見つめているだけだった。母親は感情がわからない息子に「喜」「怒」「哀」「楽」「愛」「悪」「欲」などの感情を丸暗記させることで、なんとかユンジェを“普通の子”に見えるようにと訓練してきた。だが、母は事件によって植物状態になり、ユンジェはひとりぼっちに。そんなとき現れた、もう一人の“怪物”ゴニ。激しい感情をもつその少年との出会いは、ユンジェの人生を大きく変えていく——。

著者：ソン・ウォンピョン

1979年、ソウル生まれ。西江大学校で社会学と哲学を学ぶ。韓国映画アカデミー映画科で映画演出を専攻。2001年、第6回『シネ21』映画評論賞受賞。2006年、『瞬間を信じます』で第3回科学技術創作文芸のシナリオシノプシス部門を受賞。「人間的に情の通じない人間」、「あなたの意味」など多数の短編映画の脚本、演出を手掛ける。2016年、初の長編小説『アーモンド』で第10回チャンビ青少年文学賞を受賞して彗星のごとく登場(2017年刊行)、多くの読者から熱狂的な支持を受けた。2017年、長編小説『三十の反撃』で第5回済州4・3平和文学賞を受賞。現在、映画監督、シナリオ作家、小説家として幅広く活躍している。

訳者：矢島暁子

翻訳者。学習院大学文学部卒業。高麗大学校大学院国語国文学科修士課程で国語学を専攻。  
訳書に『世界の中のハングル』(洪宗善ほか著)、『目の眩んだ者たちの国家』(キム・エランほか著)、『韓国人のこころとくらし——「チンダルレの花」と「アリラン」』(イ・ギョテ著)がある。

☆お問い合わせがございましたら、下記までご連絡ください。

〒101-8701 東京都千代田区神田神保町3-3 株式会社祥伝社 文芸出版部  
Tel.03-3265-2080 Fax.03-3265-4455

中村([a-nakamura@shodensha.co.jp](mailto:a-nakamura@shodensha.co.jp)) 中川([nakagawa@shodensha.co.jp](mailto:nakagawa@shodensha.co.jp))

## 全国の書店員さんから、やまない感動の声、声、声！

- **アジア、いや世界文学の名作です。**我が子を普通に見えるように感情を暗記させる母親に、子を持つ親の精一杯の愛情を感じる。  
[大垣書店 豊中緑丘店 井上哲也さん]
- 心の底から湧いてくる嵐みたいなものを、あなたと共有したい。**全世代に愛される名作**だと自信を持って言えます。  
[TSUTAYA 中万々店 山中由貴さん]
- ユンジェの純粹で瑞々しい心や**相手と本当に向かいあうまっすぐな姿**に深い感動を覚えました。  
[紀伊國屋書店 福岡本店 宗岡敦子さん]
- あの幸福感溢れるラストは、本当に良い作品を読んだという読後感に満たされました。一人でも多くの読者、特に感受性の高い十代の中高生に読んでもらいたい。  
[文教堂 商品本部 青柳将人さん]
- **人ひとりの命があまりにも軽くなってしまった**——今、この時代に読んでほしい。  
[本の王国グループ 宮地友則さん]
- 種々な理由で身動きがとれない人たちへ**勇気と希望を示す「心の救いとなる一冊」**  
[萬松堂 中山英さん]
- こんなにも涙が流れる。**読み終えてもずっと心に響いています。**幅広い年代の人におすすめしたい《海外からの贈り物》です。  
[うさぎや 矢板店 山田恵理子さん]
- **現代社会のひずみを希望へと導くのに必要な本。**  
[ジュンク堂書店 滋賀草津店 山中真理さん]
- 一人残された主人公が懸命にもがき、**成長していく姿に涙を流さずにはいられなかった。**  
[柳正堂書店 甲府昭和イトーヨーカドー店 山本机久美さん]
- **「世界のどこにも、当てはまらない」孤独の形**を抱えている、すべての読者に捧げたい。  
[丸善 丸広百貨店東松山店 本郷綾子さん]
- この物語の登場人物は、**誰かを想う気持ちで溢れている。**私は今、この作品からぶつけられた感情で胸がいっぱいです。  
[精文館書店 おゆみ野店 須山知子さん]
- “感情”を育んでいく主人公をととても強く感じました。**他人との関わり方を教えてくれた作品**でした。  
[丸善 岐阜店 大野久美子さん]
- **一気に読みだした。**まず文章の心地よさにひき込まれた。そして何より登場人物がとても魅力的だった。世界中の悩めるユンジェやゴニ、ドラに届いてほしい物語。  
[TSUTAYA 南古谷店 石木戸美穂子さん]
- 困難な状況にもかかわらず、**あきらめないで立ち向かう姿**に、そして**最後に差し込んだ希望の光**に勇気をもらえた気がしました。  
[ジュンク堂書店 郡山店 郡司めぐみさん]
- 感情を感じにくい少年が、それでも他者への理解を深めようとする気持ちに**心揺さぶられた。**  
[水嶋書房 くずはモール店 井上恵さん]
- **自分と違う誰か。誰かと違う自分。**あたりまえのことに躓いた時、ユンジェの透明な目を思い出すだろう。  
[精文館書店 中島新町店 久田かおりさん]
- 「大部分の人が、共感すると言いながら簡単に忘れた」ユンジェの言葉が**色々な気づきを与えてくれる。**  
[文真堂書店 ビバモール本庄店 山本智子さん]
- ユンジェは母や祖母の深い愛によって生きてこられた。**何ものにも代えがたく貴い、愛情の素晴らしさ**を改めて知りました。  
[芳林堂書店 高田馬場店 江連聡美さん]
- ユンジェの中に生まれてくる**“共感の何か”の描写が素敵**です。ユンジェとゴニの関係が前向きで素晴らしかったです。  
[ブックセンタージャスト 大田店 島田優紀さん]

## 日本と韓国各メディアでも大絶賛！

- もらい泣きするのは君に共鳴するからだ。僕がきみ、と響き合うその軌跡／奇跡を描いた本！

【一青窈さん（歌手）】

- わたし自身、よくわからない感情が込み上げてきて、ページをめくる手が止められなくなった。

誰もが当たり前を持っていると思われる「感情」が、他者から学び、与えられ、気付かされるものだと教えてくれる物語だ。

【中江有里さん（女優・作家）／週刊新潮】

- 翻訳小説のみならず、僕は今年読んだ小説の最高傑作だと感じ入りました。

【岩田徹さん（いわた書店）／天然生活】

- 「共感の喪失」という現代社会の問題を痛烈に照らし出す。

【大江輝行さん（学校司書）／子どもと読書】

● この物語を通して、他者に共感するということがどういうことか、他者に寄り添うことはどういうことか考えるとともに、私たちがどれほど相手と共感し合えるのか問われているのではないかと思った。

【富田瑞夏さん（高校生）／MORGEN】

- 3回驚いて、2回泣いた。どんでん返しを繰り返すこの物語は、映画化にもぴったりだ。

【毎日経済新聞（韓国）】

- 共感を失ってしまった現代社会の治癒への道を指し示してくれる少年ユンジエの成長記。

【聯合ニュース（韓国）】

● 家族以外には閉じていた心を周囲にも開くようになった少年。自分の運命を受け容れ、人生に立ち向かっていく。誰もが、自分の人生の物語がどう展開していくか分からない。どんな人生が良いか選ぶこともできない。私たちにできるのは、社会の中で他の人とともに生きていくことをしっかりと自覚し、感じ、愛して、これからの未知の人生に淡々と進んでいくことだけだ。

【文化日報（韓国）】

● この小説の中の人物たちは、さまざまな困難に出会って悩み苦しみながら、それぞれ成長の道を歩む。主人公の心が少しずつ変化し成長していくさまの描き方と、読者の意表を突くストーリー展開は見事だ。

【国民日報（韓国）】

● ユンジエとゴニ、育った環境の違いと不幸な出会いによって互いに相いれなかった二人の少年が、少しずつ近しくなるにつれて互いを理解し、自分の傷を克服していく過程を温かく描き出す。

【シネ 21（韓国）】

\* \* \* \* \*

**わが子が期待とはまったく違う姿に成長したとしても、変わることなく愛情を注げるか**——出産時に芽生えた著者自身の問いと「人間を人間にするのも、怪物にするのも愛だ」と思うようになった。そんな物語を書いてみたかった」（「作者の言葉」より）という想いから誕生した今作。韓国では当初、青少年向けのヤングアダルト作品として刊行されましたが、大人からも熱烈な支持を受け、瞬く間に世代を超えてベストセラーに。刊行から三年経った今も、ベストセラーにランクインし続けている（教保文庫）人気作です。

最初は個人的な問いから始まったこの物語が、こうして海を渡って異国の地で愛されるとは想像もしていませんでした。人間なら誰でも持っている「感情」というテーマが、とても大きく、普遍的なものだと今回改めて気付かされました。——ソン・ウォンピョン（「受賞の言葉」より）